

|  |   |             |   |                     |      |    |  |  |   |   |
|--|---|-------------|---|---------------------|------|----|--|--|---|---|
| 科目名  | あそび基礎演習Ⅱ  |             | 担当教員  | 深谷ベルタ・古山 律子<br>田中 葵 |      |    |  |  |   |   |
|  |   |             | 担当形態  | オムニバス・複数            |      |    |  |  |   |   |
| テキスト   | 特になし。   | 単位数<br>授業形態 | 2単位   | 演習                  | 開講時期 | 後期 |  |  |   |   |
| <p><b>講義概要</b></p> <p><b>■到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体・音楽・造形・言語表現等の観点から保育の内容を理解し、保育者として子どもの遊びや経験内容と様々な表現活動とを結びつける展開のために必要な知識や技術が身につく。</li> <li>・子どもの遊びや表現活動に必要な遊具や用具、素材や教材等を実践的に活用および作成できる。</li> </ul> <p><b>■授業の概要</b></p> <p>身体・音楽・造形表現の観点から、様々な遊びとして現れる具体的な保育の内容を取り上げ、保育の内容と幼児の表現について実技を踏まえながら解説を行います。さらにその発展として、上記3分野の表現に言語表現を合わせた合同ワークショップ型授業を実施し、総合的な表現を体得します。授業方法は、主に実技、制作、創作、グループワーク、発表で展開します。</p> <p>◇身体表現：テーマに基づいて身体が作りだす形や動きの広がりや体験し、動きをつくりだしていく楽しさを味わいながら、多様な動きを伴う全身を使った表現を身につけます。子どもにとっての身体表現活動について理解を深めると同時に、身体表現を広げ、深める視点を学びます。</p> <p>◇音楽表現：自らの声や言葉、身体、身の回りにあるモノを利用した音素材、身近な楽器などを使って様々な音・音楽遊びを経験します。これらの経験をもとに、身体・音楽・造形・言語表現をより関連づけながら解説します。子どもの表現をみること、聴くことの大切さも学びます。</p> <p>◇造形表現：描くこと・作ることを通して、自らの表現の幅を広げていきます。主に自然素材を用いた遊びを取り上げ、自然素材の特性や自然素材が子どもにもたらす発見や面白さを学びます。造形に関する遊びや表現に必要な遊具や用具、素材や教材等を実践的に活用および作成します。</p> <p><b>■授業計画</b></p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>◇身体表現（担当：田中葵）</p> <p>第1回 いろいろな体の形に挑戦</p> <p>第2回 仲間とつなげる動きの連鎖</p> <p>第3回 造形と身体表現：素材を使った身体表現遊び</p> <p>第4回 言葉と身体表現：オノマトペを使った表現</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>◇音楽表現（担当：古山律子）</p> <p>第1回 コーラスとボディパーカッション</p> <p>第2回 手作り楽器と音遊び</p> <p>第3回 音楽劇づくり</p> <p>第4回 パネルシアターと歌遊び</p> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>◇造形表現（担当：深谷ベルタ）</p> <p>第1回 自然素材① 葉っぱや小枝で表現することを楽しむ</p> <p>第2回 自然素材② 紙素材の特性に注目し、工夫して使ってみる</p> <p>第3回 自然素材③ 糸で遊ぶ</p> <p>第4回 自然素材④ 風と遊び、風を楽しむ</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>◇合同ワークショップ型授業（担当：深谷ベルタ・古山律子・田中葵）</p> <p>第1回 総合的な表現① 光と影で遊ぼう</p> <p>第2回 総合的な表現② 空気と風で遊ぼう</p> <p>第3回 表現のまとめ 身体・音楽・造形・言語の観点から</p> </td> </tr> </table> <p><b>■準備学習</b></p> <p>小レポートの作成や実技課題の提示があります。指示に従って授業までに準備すること。本演習専用のファイルを毎回整理し、授業内容の理解定着を図ること。円滑な活動ができるために素材や道具を各自で用意する必要があります。（特記事項を参照）</p> <p><b>■評価方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制作物や実技の成果 — 50%</li> <li>・授業での取り組み（ワークショップや活動への積極的な取り組み） — 50%</li> </ul> |   |             |   |                     |      |    | <p>◇身体表現（担当：田中葵）</p> <p>第1回 いろいろな体の形に挑戦</p> <p>第2回 仲間とつなげる動きの連鎖</p> <p>第3回 造形と身体表現：素材を使った身体表現遊び</p> <p>第4回 言葉と身体表現：オノマトペを使った表現</p> | <p>◇音楽表現（担当：古山律子）</p> <p>第1回 コーラスとボディパーカッション</p> <p>第2回 手作り楽器と音遊び</p> <p>第3回 音楽劇づくり</p> <p>第4回 パネルシアターと歌遊び</p> | <p>◇造形表現（担当：深谷ベルタ）</p> <p>第1回 自然素材① 葉っぱや小枝で表現することを楽しむ</p> <p>第2回 自然素材② 紙素材の特性に注目し、工夫して使ってみる</p> <p>第3回 自然素材③ 糸で遊ぶ</p> <p>第4回 自然素材④ 風と遊び、風を楽しむ</p> | <p>◇合同ワークショップ型授業（担当：深谷ベルタ・古山律子・田中葵）</p> <p>第1回 総合的な表現① 光と影で遊ぼう</p> <p>第2回 総合的な表現② 空気と風で遊ぼう</p> <p>第3回 表現のまとめ 身体・音楽・造形・言語の観点から</p> |
| <p>◇身体表現（担当：田中葵）</p> <p>第1回 いろいろな体の形に挑戦</p> <p>第2回 仲間とつなげる動きの連鎖</p> <p>第3回 造形と身体表現：素材を使った身体表現遊び</p> <p>第4回 言葉と身体表現：オノマトペを使った表現</p>   | <p>◇音楽表現（担当：古山律子）</p> <p>第1回 コーラスとボディパーカッション</p> <p>第2回 手作り楽器と音遊び</p> <p>第3回 音楽劇づくり</p> <p>第4回 パネルシアターと歌遊び</p>                    |             |   |                     |      |    |  |  |   |   |
| <p>◇造形表現（担当：深谷ベルタ）</p> <p>第1回 自然素材① 葉っぱや小枝で表現することを楽しむ</p> <p>第2回 自然素材② 紙素材の特性に注目し、工夫して使ってみる</p> <p>第3回 自然素材③ 糸で遊ぶ</p> <p>第4回 自然素材④ 風と遊び、風を楽しむ</p>  | <p>◇合同ワークショップ型授業（担当：深谷ベルタ・古山律子・田中葵）</p> <p>第1回 総合的な表現① 光と影で遊ぼう</p> <p>第2回 総合的な表現② 空気と風で遊ぼう</p> <p>第3回 表現のまとめ 身体・音楽・造形・言語の観点から</p> |             |   |                     |      |    |  |  |   |   |
| 参考文献   | 必要に応じて資料を配布する。  | 特記事項        | <p>&lt;身体・音楽表現授業への参加について&gt;</p> <p>必ず動きやすい服装で参加すること。上履きを持参すること。</p> <p>&lt;造形表現授業の持ち物について&gt;</p> <p>造形授業で使われる道具類は（場合により素材も）各自で用意する必要があります（「子どもと文化Ⅰ、Ⅱ」で使われる場合もあります）。ハサミ、カッターナイフ、ホチキス（ステドラ）、黒の油性マーカー、液体糊、セロハンテープ、絵筆（太さの異なるもの3本）</p> |                     |      |    |  |  |   |   |
| 卒業・免許状・資格との関連  | 幼稚園教諭免許状必修<br>保育士資格必修   | 幼           | 教科に関する科目  |                     |      |    |  |  |   |   |
|  |   | 保           | 保育の表現技術   |                     |      |    |  |  |   |   |